

大会名 第41回 全日本バレーボール小学生福岡県大会

男子・決勝

期日： 2021年 7月 25日(日)

会場： 大木町総合体育館

主審： 待鳥 昌光

副審： 奥田 大介

記録： 鹿毛 達也

補助員： 豊前ジュニア男子

大刀洗ファイターズ 2 $\left[\begin{array}{l} 21 - 17 \\ 21 - 11 \\ - \end{array} \right]$ 0 島門ジュニア

試合時間 0 時間 39 分

平均身長(スタメン)150.3cmの島門ジュニアに対して、140.1cmの大刀洗ファイターズが10cm以上の身長差の中で対戦となった。1セット目は、島門ジュニア1番黒木の連続サービスポイントに加え、スパイクも決まり流れを掴み、1回目の給水タイムを迎えた。しかし、大刀洗の2番セッター久保山が両サイドヘットを返し、1番本田、4番三浦がスパイクを決め逆点。さらに、4番三浦の連続サービスポイントで1セット目は、大刀洗が先取した。2セット目も大刀洗の勢いは止まらず、4番三浦の平行スパイクを軸に、3番森、5番本田、6番平山のレシーブと後押しをした。島門ジュニアは、3番橋本のブロックで対抗するも、後半はゲームミスが目立ち、力及ばず大刀洗ファイターズの優勝となった。2003年(平成15年)以来の優勝であった。

※ 7~10行にまとめること。

戦評者： 岸川 秀輝

大会名

第41回 全日本バレーボール小学生福岡県大会

女子・決勝

期日： 2021年 7月 25日(日)

会場： 大木町総合体育館

主審： 瀧川ルミ

副審： 不動忠輝

記録： 山野由貴

補助員： 熊幡シンス

川崎ジュニアバレーボールクラブ 2 $\left(\begin{array}{r} 21 - 18 \\ 21 - 16 \\ - \end{array} \right)$ 0 柳川ジュニア

試合時間 0 時間 43分

どちらが勝っても初優勝となる決勝戦は、柳川①平川さんのサーブから始まった。序盤は、両チーム共にサーブミスがあったが、一進一退の攻防が続く。中盤 川崎が①樋口さんのサーブミス、②川口さんのアタックでリードを広げるが、粘る柳川も②中原さんのサーブ時に6連続得点で一瞬は逆点したが、川崎②川口さんの2本のサーブミスで再び逆点。勢いに手を止らせず、2-18で川崎が1セット目を奪取した。

続く2セット目は、川崎③中村さんのサーブミスでスタート。1セット目同様のシーソーゲームから中盤 川崎②川口さん、柳川①平川さんの打ち合いが続く。その中で、小刻みに連続得点を重ねた川崎がリードし、最後は、マッチポイントで投入された川崎⑦野田さんのサーブミスが決まり、自熱した試合を2-0のストレートで見事に川崎ジュニアが制した。

※ 7~10行にまとめること。

戦評者： 重松利治

大会名

第41回 全日本バレーボール小学生福岡県大会

混合・決勝

期 日 : 2021年 7月 25日(日)

会 場 : 大木町総合体育館

主 審 : 山下 遼

副 審 : 永田 遼

記 録 : 高田 佳織

補助員 : 南 ジュニア

当仁ジュニア 2 $\left[\begin{array}{l} 21 - 17 \\ 16 - 21 \\ 15 - 6 \end{array} \right]$ 長尾ジュニア

試合時間 / 時間 00分

福岡地区同志の決勝となり、お互いの戦術は熟知する中、長尾の4番
 若菜君のサーブを当仁の3番 清水君が肩返しのこもったスパイクで抑えた。
 しかし、当仁の3番 清水君にブロックを命じ、5-1と長尾がリードする形と
 なった。中盤は、長尾の井上さんのスパイクを、3番 清水君がレールで攻撃
 に切り替えて、ラリーが納りたが、当仁が流石とつかんで21-17で先取した。
 2セット目は、当仁の3番 清水君のスパイクが連続して決まり、7-1とリードしたが、
 長尾の7番 井上さんのサーブで、8-8と追いついた。その後、長尾の7番 井上さんの
 力強いスパイクでリードをひろげ、21-16で長尾が巻き返した。
 勝負の3セット目は、当仁の1番 久木田君のサーブと、3番 清水君の緩急つけた攻撃で
 8-1と折り返した。しかし、このお終りのため、長尾も応戦するも、流石とつかんで
 当仁が15-6で勝利した。

※ 7~10行にまとめること。

戦 評 者 : 都 甲 和 彦